

# 富山善銀

第165号

発行所

公益社団法人  
富山県善意銀行  
富山市桜橋通り1-18  
北日本桜橋ビル5階  
電話・FAX(076)431-2239  
印刷所  
北日本印刷株式会社



【善意色紙等頒布展に三遊亭小遊三師匠が来て下さいました】

私たちの活動

(1) 親切善行活動

(2) 福祉活動

(3) 啓発活動

(4) 貸し出し活動

(5) 拡充活動



## 四国霊場八十八ヶ所

### 歩き遍路を体験して

(株)アイベック 相談役 高見貞徳

私はある人との出会いから「四国霊場歩き遍路」があることを知りました。四国霊場には各県ごとに二十ヶ所前後、全部で八十八のお寺があります。各お寺間の総距離は約千キロメートル、新幹線で東京駅から博多駅までとほぼ同じ距離になります。

私は五十四歳から「四国歩き遍路」を始めました。日頃は会社役員として勤務しておりましたが年に二回から三回、五月の連休やお盆休み、年末年始の連休を利用して「区切り打ち」をしました。仕事との兼ね合いを考慮して一回あたり八日から十日の休暇を取り歩きに行きました。歩く目的は信仰のためではなく、興味本位でしたのでいつまで続くのか心配でした。ところが歩き始めるとすっかりハマってしまい、二十一年間に十回の結願(けちがん)を達成しました。(一回当たり一千キロを十回体験)その後も歩き半分、観光半分のブラブラ歩きが五年間続いたところで新型コロナウイルスと直面し、今は一旦休止をしています。

さて、歩き遍路で一番困ることはリュックの重さが七キロくらいです。一日当たり二十五から三十キロメートル歩きますので、足の裏の皮と筋肉が少しずつはがれてゆくことです。最初は指の裏から始まりますが段々とかかとに移り、やがて裏側全面に広がります。まるで白足袋を履いたようだと言現する人もいました。こうなると筋肉の痛みが強くなり、歩行はできなくなり最寄りの宿で二、三日は養生しなければなりません。

歩いている内に色々な方との出会いがあります。現役経営者や現役国会議員さんとも出会いがあり、一緒に歩きながら気楽に話げできました。出会う人はおおむね高齢の男性が多いようです。中でも定年を迎えて次の職場に再就職する間を利用して、歩き遍路を体験してみようという方も何人かおられました。その方々の思いは、結論として「残りの人生を悔いのないように過ごすためには、どのように考えればよいか」の答えを深刻に求めて歩きに来ておられるようでした。私も歩き遍路を通して自分の人生を見つめ直すよいきっかけになりました。

### 謹んで新年のお慶びを申し上げます

令和五年 元旦

(公社)富山県善意銀行  
理事長 河合 隆

役員一同